

協働推進のための各課業務課題の調査結果（令和7年4月現在）		
部名	課名等	各課で抱えている行政課題や業務課題 協働の取組によるメリットを享受できそうな業務課題
市民防災部	地域のつながり課	・自治会町内会へのデジタル回覧版の導入を検討しており、今後導入した場合に普及促進を図りたい。 ・すでに協働で作成した町内会支援のためのハンドブックに修正の必要が生じた場合改定が必要である。
こどもみらい部	こども支援課	NPO法人かまくら冒険遊び場やまもりと協働し、旧梶原子ども会館でかまくら冒険遊び場・梶原の運営を開始してから6年目を迎えるが、公募による協働事業者の選定にあたり、営利性にとらわれることなく自発的に活動できる柔軟性や、地域に密着し子育て支援のネットワークを構築できる地域性を持ち合わせている団体が現状ではないため、公平性・透明性の確保が難しいと感じている。
こどもみらい部	青少年課	「未就学児親子の遊び場・交流の場が足りない」「各地域に未就学児親子の遊び場が欲しい」という声が寄せられていますが、希望通りに行政だけで対応することは困難な状況です。市内には、未就学児親子の遊び場が点在していますが、利用できる日時に制限があったり、体を思いきり動かして遊ぶには狭かったりなどの課題もあります。 遊び場の提供には、①物理的な場所の確保　と　②支援できる人の配置　が必要ですが、協働して取り組むことで地域力向上にもつながることを期待します。
健康福祉部	福祉総務課	避難行動要支援者の方については、災害時の避難支援等を実効性のあるものとするため「個別避難計画」の作成を進める必要があります。この「個別避難計画作成の取組」について地域への周知方法や避難行動要支援者の方と災害時の避難誘導、安否確認等を行っていただく地域の「支援者」とのマッチングが課題となっています。
健康福祉部	生活福祉課	一社）ふらっとカフェ鎌倉と市で「フードバンクかまくら」を運営していくなかで、 ①寄付された食料を保管しておく倉庫が手狭になっていることから、移転先を探している ②食料の管理や配達を手伝ってくれるマンパワーが不足している ③寄付いただける食料を充実させたい（量・種類）
健康福祉部	生活福祉課	民生委員児童委員のなり手を増やしたい。 本市では定員226人のところ、7人が欠員となっているほか、令和7年の一斉改選では75歳の定年により退任される方が70人程度になる見込みである。 専業主婦の減少や定年退職の年齢が上昇していることなどを背景として、地域でボランティア活動を担える方を探していくのが難しい状況になってきている。
健康福祉部	生活福祉課	誰もが気軽に行けるような、地域食堂・サロン・多世代交流の場などの「地域の居場所」を増やし、人と地域がつながり、孤独・孤立に陥らないようにしたい。また、地域にある居場所の情報を共有できるようにしたい。
健康福祉部	生活福祉課	ひきこもりの方やすぐに働くことが難しい方が、ボランティアや就労体験ができるところを増やしたい。
都市景観部	みどり公園課	本市中央部に位置している山崎・台峯緑地の維持管理について、里山である本緑地の自然環境は人による継続的な手入れが必要不可欠です。里山の維持管理には①日常的に管理できる人員の配置　と　②作業に必要な道具や倉庫の確保　が必要ですが、協働して取り組むことで里山に対する市民の関心が高まることも期待できます。

裏面あり

部名	課名等	各課で抱えている行政課題や業務課題 協働の取組によるメリットを享受できそうな業務課題
都市整備部	都市整備総務課	1 空家等対策を進めていくなかで、以下の事項に課題を抱えている。 ①空き等の所有者等の連絡が取れないことが多々あるので、地域間で、居住者および所有者の連絡先が共有できるような仕組みを構築したい。 ②空き等の所有者の同意がある前提であるが、遠方に居住する所有者に代わって、空家等の管理（樹木の伐採等）を代行するような団体・事業者を求めている。 ③ 空家等の発生を未然に防ぐために、所有者等の知識・意識を向上・啓発するためのイベントや交流会、情報提供の場がほしい。また、家屋等の相続や管理、処分等について包括的な相談を受けられるような仕組みを構築したい。 2 ①市営住宅の建替え事業に伴い、鎌倉市笛田に他の市営住宅入居者が移転をする予定である。移転は令和6年度、8年度、10年度に順次行う予定である。市営住宅の入居者は高齢者が多いため、移転後の見守りや安否確認、地域との関わりの希薄化等を懸念している。 ②全市営住宅において、入居者は高齢者が多く、植栽管理や一部設備管理は初心者のため、植栽管理、設備管理、効率の良い方法の指導等を求めている。また、植栽管理や施設管理、生活上の困りごとを代行してもらえるような団体等を求めている。
教育文化財部	学務課 給食担当	臨時休校等に伴い給食を急遽中止することとなった際に、食材の発注キャンセルができない場合があります。できる限り他の学校や翌日以降の給食で使用していますが、特に賞味期限が短い食材は短時間での調整が難しく、余剰となった際にフードバンク等への寄附も難しいため、適切な活用が課題となっています。
教育文化財部	教育指導課	①教育活動の地域展開 各種教育活動について、社会に開かれた教育課程の理念に向け、地域人材の活用を検討していきたい。 ②日本語指導 現在、主に外国籍の児童生徒を対象に、日本語の保持、理解について、ボランティア団体「COSMOS」様に尽力をいただいている。1回あたり2000円で放課後に指導を行っていただいている。近年、日本語指導を希望する児童・生徒が増加し、日本語指導のボランティアのニーズが増えている状況である。今後、持続的に本事業を行うため、日本語指導ボランティアの充実を期待したい。
教育文化財部	文化財課 文化財担当	遺跡調査研究発表会・速報展を市内のNPO法人と共催で毎年開催しています。しかし、それ以外にも文化財に親しんでいただくために、地域が主体となって文化財を守り、魅力を発信することができないかと考えます。地域の文化財の保護を地域住民や地域団体などが主体となって行うことが、人口が減少する社会で、進めていくべき方向と考えます。
教育文化財部	文化財課 史跡担当	史跡協働管理事業で市内のNPO法人と協働で、史跡の草刈りや定期巡回等をしています。 課題として、①史跡での倒木等により、道路や近隣の住宅に危険が及ぶ可能性がある ②史跡買収計画により管理する土地が今後さらに増えることが予想される ③市内の史跡すべてを管理、公開するためのマンパワーが今現在既に不足している 等が挙げられ、地域住民や地域団体との協働により、文化財や歴史に親しみ、魅力を伝える環境の整備が進むと考えます。
教育文化財部	生涯学習課 生涯学習担当	※学習センターの管理・運営は令和4年10月から指定管理となっている。 課題として次のような課題がある。 ①老朽化した施設の維持保全。 ②子ども向けや高齢者向けなど、一部の年齢層を対象とせず、若年層や現役世代など多様な世代が参加したくなるような魅力ある講座等の実施により、多くの市民の方々に学習センターの利用する機会を増やすこと。

裏面あり

部名	課名等	各課で抱えている行政課題や業務課題 協働の取組によるメリットを享受できそうな業務課題
教育文化財部	生涯学習課 鎌倉歴史文化交流館	①博物館運営予算の安定的な確保。日常的な運営経費の他、将来的に空調や展示・収蔵設備の改修等を予定しているため、寄付等の積極的な受け入れ体制の構築が課題。 ②学芸員や事務職員等、博物館運営に専門的な知識を有する人材及びイベント開催時の対応人員の不足。すでに展示やイベント等において、専門的な知識を有する大学等との協働を行っており、今後も適宜、実施を検討する予定である。 ③バリアフリーの取組、多言語化及び博物館所蔵資料等のデジタル化等について、専門的な知識を持つ人材の不足。博物館が今後取り組むべき課題について、業者委託の他、専門的な知識を持つ団体等との協働による解決も期待される。
教育文化財部	生涯学習課 鎌倉国宝館	上記と同様

【注意事項】

【注意事項】

- つながらる鎌倉エール事業協働コースは、市民活動団体等から公益的な事業を提案いただく制度ですので、本調査に掲載されていない内容の事業企画もこれまでどおり提案いただけます。
- 本調査の回答に基づく提案がなされたとしても、必ずしも協働事業として採択されるわけではありません。
協働は事業の目的ではなく、課題解決の手段であることから、NPOセンターがメンターとなって市の担当課と提案団体の間に入り、事業内容やプレゼンへの進出などについて協議をおこない、相互理解を図りながら調整をさせていただきます。